

お礼とご報告

春寒の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびは第八回北三陸「じもつと基金」に温かいご支援とご協力を賜り、大変感謝いたします。

お蔭様で、縁カフェとりんの交流スペースを広げるための電気工事、仕切りの壁の移動工事の費用として、また、利用者さんの荷物入れの購入費用として、活用させていただきました。

今年度も『認知症になっても住み慣れた地域で暮らす』ことができるよう、正しい知識の普及啓発と助け合いの居場所づくりにつなげたいと考え、連続して五回の研修会を行いました。

広くなった交流スペースで、参加者を増やして研修を行うことができました。日頃の不安や悩み等、講師と身近に話し合うことができるため、回を重ねるたびに参加者が増えていきました。

また、今年度は、「認知症本人の会」と「認知症の方を」介護する家族の会」が立ち上がり、毎月集まって交流を楽しんでいます。そして、令和六年度には、広くなった交流スペースを活用して、高齢者・認知症の方と若い世代の方々との交流事業も企画して、夢が膨らんでいます。

縁カフェとりん（元気でらす縁）に足を運ぶことで、一、高齢者の方々が自宅に引きこもることなく人と繋がり、二、様々なことに挑戦することで生きがいや楽しみや仲間を見つけ、三、聞きたいこと、手伝ってほしいことが言える関係づくり（助け合い）ができるよう、事業の充実を図っていききたいと思えます。

皆様におかれましても、お身体をご自愛されますとともに、今後につきましても、当事業へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和六年二月

特定非営利活動法人 元気でらす縁

理事長 根井 明美